

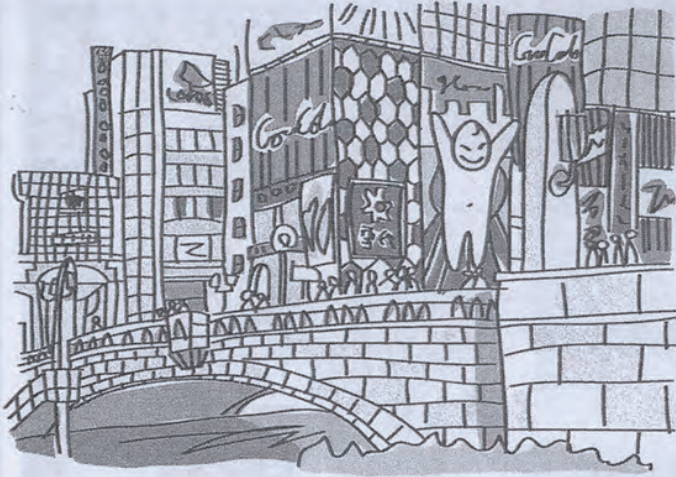
# なにわ名物開発研究会NEWS

<第6号>  
 2000年7月28日発行  
 発行  
 なにわ名物開発研究会  
 〒542-0076  
 大阪市中央区難波1-7-2  
 SENOYAビル3F  
 TEL・FAX 06-6213-5554

## 第三回なにわ大賞は 上田富雄さん(65才)に決定。

### 「大賞」

▼銅鐸づくり挑戦  
 上田富雄さん(65才)



不況にあえぐ中小企業二万軒の街・東大阪にあつて、夢を見つけ、実現させ、多くの人にその夢を分け与えている。本業は、奈良の大仏から平安時代の銅釜を鑄造していた「河内鑄物師(いもじ)」の伝統を受け継ぐ上田合金の社長。四年前、島根県加茂岩倉遺跡跡から出土した銅鐸に魅せられたのをきっかけに銅鐸づくりに挑戦。みこと二〇〇〇年前の古代の音を再現させた。赤字続きの会社を夫唱婦随できりもりしながら、作り上げた銅鐸は各大学、近つ飛鳥美術館、八尾歴史資料館、平岡神社等に寄贈。福岡県前原市の平原(ひらばら)古墳で発見された大鏡の復元にも取り組み完成。「実験考古学上田工房」「古代河内のかたりベサロン」ほか、小学生から大学生まで、講演活動や実技指導を手弁当で開催し続けている。

### 「準大賞」

▼十三あたりわてらの集い  
 世話人 小竹 武さん(医師)

歓楽街、飲食街、商店、工場そして住宅密集地の十三は、淀川にも近く自然環境にも恵まれている。物作りの職人、商店の主人、戦争の語り部、写真家、画家、自然観察にたけた人、子供の世話に生き甲斐を持つ人……。この街の発展と活性化を目指して、老若男女様々な町衆が、それぞれ得意なアプローチから協力しあっている。十三中学における、社会人が先生となる「ふれあい教育」、商店街を「つばめ通り」に、地区の和菓子店が協力し「十三名物」づくりをはじめ、淀川ネイチャークラブとともに「宇宙メダカ」の展示や、和歌山県南部川村との「山村交流」など多彩な活動を展開している。

### 「準大賞」

▼屯天漢  
 代表 藤井啓市

六百年の伝統と技術が育ててきた、世界に誇る堺の刃物。新しい感性と刃物に対する真剣な思いを、遊び心をもって表現しつづけている、堺刃物集団「屯天漢」。お菓子とのジョイントをはじめ、自由都市の伝統をもつ、我がまち堺の活性化をも目指して異業種交流のネットワークづくりにも積極的に取り組む。ふれあう紐を巻きつつ展開していく、次なる一手に乞うご期待!

### 「特別賞」

▼ボンドダンス推進市民会議  
 代表 村井市郎さん(75才)

▼立ち飲み三銃士  
 辻本たかしさん(アートディレクター)  
 新山ひろしさん(映像ディレクター)  
 西田みのるさん(無農薬茶販売)

▼(社)トンボと自然を考える会  
 近畿支部  
 支部長 岡田三朗さん

▼往生院民具供養館  
 館長 川口哲秀さん(住職)

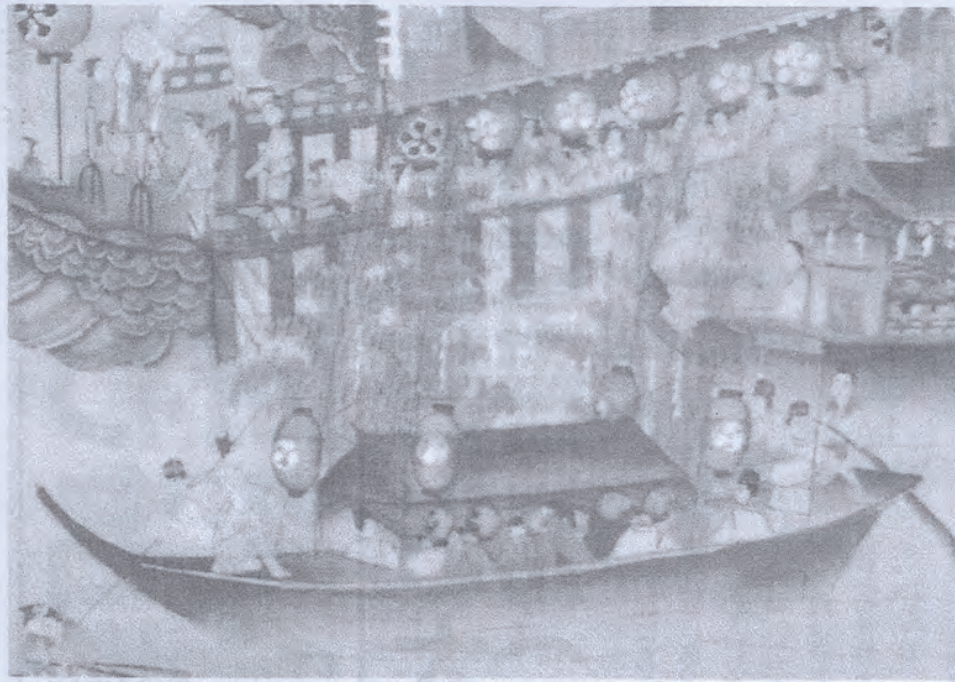
▼新内家  
 岡本弥八さん(76才)

## 三月度 大阪の歴史、文化を大いに活用した 土産ものを創作してほしい

三月二十七日、難波市民学習センター(OCAI)において、社団法人大阪観光協会観光課長足立克己氏の講演が開かれた。観光となにわ名物開

発研究会の関わりについて、新たな意識を持つ内容であった。大阪の歴史、文化を大いに活用し土産物の土産物を創作して欲しいと力説され、各会員とも、売上げを作ることから二歩下がって、大阪の歴史、文化を見直し、特徴を理解し、意味のある名物を今後、創作していく事の重要性を再認識させられた。

## 四月度



大阪の歴史や文化を大いに活用して

四月二十七日、三月度と同じ難波市民学習センターにおいて、四月度月例会が開催された。今回は、講師の先生は招かず、各部署のPR、会員同士のPRタイムを大きく設定し、自らの仕事の内容、宣伝したい事を、演壇に立って持ち時間三分にて大いにPRした。今後このよ

うな企画は続けていきたいと言うのが、総務部会の意向で、各会員の仕事の交流にも、大いに役立つはずだ。四月度月例会に出席できなかった会員の方は、次回のPRタイムをもうけた機会に是非とも出席いただき、大いにPRをどうぞ。

## 六月度

### デザイン論でワイワイ がやがや

六月二十二日難波市民学習ルームにて、ブランド研究の第二弾として、商品イメージをビジュアルに表現するグラフィックデザインをテーマに、川中實人さんをゲストに開催しました。

デザインの概念は昔はファッションのことをさしたが、今日では「生活をデザインする」など図形をこえた質量を持ち出してきます。川中先生自身は「人間環境をハッピーにする設計ならびに造形」と定義、最近流行のユニバーサルデザインという考え方は誰にとっても快適なデザインを示すもので、一方でデザインを発注する側の意識や理念をも問われる時代が到来したとの指摘だった。また、大阪を「コテコテ」と表現したのは東京ではないか、ゴチャゴチャしたものが決して大阪的ではないし、それに迎合するところ時期は効果的に作用しても長い目ではマイナスだと意見をいただきました。

## 野村 育郎 代表幹事所信を語る

設立5年目を迎え、当研究会の真価が問われる時期です。マーケティングチームが中心に取り組む「NANIWA NEW BRAND」の研究・開発にパワーを集中して、コテコテ(大阪弁ではありません)を脱した、大阪発のそして、会員各自が共有できるネクサスブランドづくりにむけて、ぜひとも成果を出したいと思います。

また、3回目の「なにわ大賞」はかなり認知もされてきました。



今後は、これまでのネットワークも生かしつつ「なにわのファンクラブ」創設へむけて、全大阪のそして、全国の「なにわファン」の組織化をはかり、大阪の元気づくりをリードしていきたいと思っています。

# 平成十二年度通常総会開催 いよいよ設立五年目です！

去る五月二十六日(金)に道頓堀ホテルにて開催、平山総務部長の司会により、議長には会則により野杻代表を選出、各報告、事業計画、予算案いずれも満場一致で承認されました。いきいき大阪中小企業フェスタやギフトショーなどイベント、なにわ大賞をはじめ軌道にのってきた事業の二層の充実や、新たな挑戦としてNANAWAニューブランドの開発、なにわファ



ンクラブの設立など、具体展開が求められる正念場の年と期待されます。

## ブランドの威力に 一同騒然の講演会

ブランド研究の一環として神戸大学の石井淳蔵先生に最新「ブランド論」をお話いただきました。身近なお話で、

ある会社の商品ブランドを外資系企業が買い取り市場に出し直した結果、年商七十〜八十億円から二十億円の商品に大化けた例を紹介。売却した会社は開発研究以上にブランドマネージメントを研究せねばならないと自覚したこと。製品をつくる技術の商品化につなげる従来の発想だけでなく、商品イメージに対して消費者が何を期待するかといった視点から開発していく、つまり商品がもつイメージこそが企業財産となる時代が到来しているとの、インパクトのあるお話でたいへん好評でした。

## From 委員会

### 総務部会

総務部会では月例会の参加者を増大する為、数々の企画を予定しています。又、会員の皆様からの御要望をお待ちしています。

同時に過去のイベント等で得たネットワーク情報を会員さんに有意義に活用していただけるよう、データ化する作業を進めています。より多くの情報をお持ち帰りになり、なにわ名物開発研究会のネットワーク情報を有効にお使い下さい。

### 商品開発部会

商品開発部会担当の藤井「ピンハウス」です。会員の皆様の期待である(一)商品開発の実績を作るべく、今年度に備えております。研究会における商品開発プロセスの浸透度もまだまだですが、部会会合「フリーエントリー」を通じて「開発」に参加できればと思います。特に「なにわ名物」に関連していなくてもかまいません。1人で考えてないで皆でワイワイ・ガヤガヤ開発しませんか？きっと変なアイデア(?)が出てくると思いますよ……

### 会員交流部会

今期もすでに四カ月を過ぎ各部会で事業を行ってきたわけですが、交流部会事業の目的である「研究会PR」「会員拡大」の具体的手段としての展示会出展は予定されているのが十一月、三月であり、これから動こうとしているところです。

決めた事を続ける事に価値を見て毎月一回の交流部会は必ず行っており、部員相互の交流は益々深まってきております。少ない人員ではありませんが、各部会メンバーが与えられた責任を果し続けている事に、担当部長として心より感謝申し上げます。

よってらっしゃい、みてらっしゃい  
何かオモシロイこと一緒にしませんか？  
新入会員さん、随時募集中です。

## なにわ名物開発研究会

〒542-0076  
大阪府中央区難波1-7-2  
TEL・FAX06-6213-5554  
または06-6211-0685  
http://osaka-net.com/naniwa  
E-mail naniwa@osaka-net.com

# 会員紹介

## 大阪の自由な発想を東京にも

### 株式会社ケーエスピー

Tシャツ等の繊維製品(パレル)のプリント加工の会社として発足し十五年。

現在は、主にスポーツウェア関連のプリント加工及びTシャツの企画販売を手掛けている。最近の主力商品は、東京デザインブランド向けアパレル製品の販売で企画から生産までを一貫する大阪発信の企業として注目を集めている。来年は東京デザインシーもOPENするので、「より一層、大阪の自

由な発想を取り入りたい」と意欲的だ。「会員各位の中でアイデアをお持ちの方連絡を下さい。お待ち申し上げております」とのこと。

東大阪市長田2丁目2-25  
☎0729(66)2093

## 新しいセンスと共感を呼ぶ メッセージで明日をクリエイト

### 南海包装株式会社

「こんなことができたらいいな」「こうすればいいんじゃないか」普段私たちが生活の中でふと思う素朴な発想や、なにげない瞬間。そういうものの中にこそ明日につながる「私たち」があるのだと考えるのが南海包装株式会社のモットー。「毎日の生活から生まれるさまざまなヒントと弊社のノ

ウハウを組み合わせて、商品の魅力を幾重にもふくらませるアイデアを提供したい」とはりきる印刷にかかわる全般的仕事をします。

東大阪市長田西6丁目20-6  
☎06(6744)7461

## 人の幸せを目的として 食の改善を考えます

### 豊国ヌードル株式会社



「世の中にない物を創造します」「世の中にないサービスを創造します」「世の中になにを創造します」社

ネラル水を使ったダシ、各種鍋商品、おいしいラーメン、ロングライフ麺を作っている。一九七一年四月、手打麺処「万丸」を個人経営にて創業。一九七九年十月に資本金八百万円の株式会社に改組し、豊国ヌードル株式会社と改め、以来歴史を重ねる精神性の高い企業です。

奈良県大和郡山市今国府町129-3  
☎0743(59)2906

## 新入会員紹介

### 〈正会員〉

- (有)アシスト、山下敦子 経理事務代行、ホームページ製作他
- (有)サンテイク、佐竹博和 雑貨、生活雑貨卸 (株)
- 大納言、北篠勝彦 和菓子(茜丸五色どら焼き他)製造、販売 (株)マツナガ、松永和喜
- 玩具、雑貨製造卸 東洋紙業(株)、個人会員として入会の山田高説さんが、本年度より正会員として法人参加。

### 〈個人会員〉

あながいおまる 書家、プロデューズ、出版。第一回なにわ大賞受賞。

## 第23回中之島まつり



5月3日～5日にかけて開催された「第29回中之島まつり」に今年も参加。

「いちびり二千ねんなにわ横丁」と題されたゾーンで、会内外の交流と情報発信・交換を目的に「なにわ茶屋」を



設営した。会員自慢のお菓子と、レディスフォーラムミナミの協力による抹茶セットで、多くの来場者の好評を博した。また、大阪弁川柳や和泉木綿の糸紡ぎの実演など、体験コーナーも人気を集めていた。